

旧磯子工場の土地利用検討に向けたサウンディング調査 実施結果

令和5年6月

横浜市資源循環局政策調整部政策調整課

1 対話期間と申込事業者

(1) 対話期間

令和5年4月17日(月) から 令和5年5月16日(火) まで

(2) 申込事業者

5事業者

【業種内訳】

エネルギー関係:2団体、リサイクル関係:2団体、建設関係:1団体

2 対話の概要①

(1) 土地に対する評価

- ・ 周囲に住宅が無く、道路アクセスなどを考慮すると、工業用途に良い立地である
- ・ 建屋解体や土壌改良に関する費用は大きいものと予想している
- ・ 建屋解体に関しては杭の撤去範囲によっては費用は大きくなる可能性がある
- ・ 駅からのアクセス性の観点から、本敷地での活用建物の従業員の確保は課題点となる可能性がある
- ・ 海に面した土地であるため、近年頻発している水害等への懸念がある

(2) 土地活用のイメージ

- ・ 再生可能エネルギー施設 : 2事業者
- ・ 中間処理場やリサイクル施設 : 2事業者
- ・ 発電施設 : 1事業者

(3) 申込事業者の関与の想定

- ・ 直営 : 3事業者
- ・ 代表企業又は施工者 : 1事業者
- ・ 特別目的会社(SPC) : 1事業者

2 対話の概要②

(4) 活用に向けた期間の想定

- ・ 早期の事業化を希望 : 2事業者
- ・ 時間的な制約はない : 2事業者
- ・ 事業化想定スケジュールに合わせて今後コンソーシアムを組成予定 : 1事業者

(5) 意見・要望等

- ・ 横浜市の関係部局との今後の打合せや調整を行わせていただきたい
- ・ 効率的な土地形態で公募してもらえるとありがたい
- ・ 周辺用地も含めることができれば、より幅広な提案ができるものと感じている
- ・ 利用用途の規制が緩和されるとありがたい
- ・ 建屋の解体費と土壌改良のコストは土地価格に反映してもらいたい
- ・ 評価方法は価格だけでなく、提案内容を重視してもらえるとありがたい
- ・ 土壌汚染についての情報共有や対策を協議できる場を設けてもらえるとありがたい